



# 声 みんなのひろば



瀬原磯治 (金屋)

酒は愛し、酒を飲む習慣は極めて自然です。すっきりした酒、ふくよかな酒、シャープな酒、人それぞれに個性があるように、酒の個性もさまざまですが、どうであれ何よりは酒

自動車の運転と同様に人間の力以上のパワーをあつかうからには、それなりの心得を持たなければなりません。「酒は憂いの玉箒」という言葉があるように、酒を心の憂いをとりはらってくれます。そもそも酒はストレスの軽減など利点もありますが、体を傷つけないように飲みましょう。ほろほろ酔い加減で・・・飲酒運転のない町をつくりましょう。



建部恵依子 (宮内)

介護職で、ケアマネージャーとして仕事をすることで、感じたことを書かせていただきます。介護に対して先が見えなく、不安な気持ちいっぱいの方がいらっしやると思います。そのようなときに、介護者の心の支えとなり、

また、人生の最期を迎えようとしていられるご高齢者に対して、かわられるご家族の姿を目の当たりにし、介護者の方の人間としてのすばらしさを感じさせていたただいたこともありました。少子・高齢化社会の到来で、介護に対するの危惧がささやかれています。人として生を受け、幸せな生涯がまっとうできる世の中になることを切に希望します。



橋本久行 (富)

「地域まちづくり」の事業がスタートし、各集落からその役割りを担うまちづくり委員が選出され「ワークシヨップ」を開催し、集落のさまざまな課題について話し合いが進行するなか、少しずつ意見が出るようになり、「集落の健康診断」を実施したことで、改めて集落内の現状が理解できたと思

り組んでいるところです。「庄内校区地区会議」は、2カ月に1回の開催を本年度から毎月1回に変更し、課題を集約して事業を推進していきます。「自慢できる故郷づくり」を目指し事業推進していきます。「できるかできないかは、やってみなければわからない」の精神で！

「少子高齢化・人口減少時代のまちづくり」をどのように取り組み、推進していくのか集落内ではさまざまな集まりで話し合い、取

「ワークシヨップ」を開催し、集落のさまざまな課題について話し合いが進行するなか、少しずつ意見が出るようになり、「集落の健康診断」を実施したことで、改めて集落内の現状が理解できたと思

り組んでいるところです。「庄内校区地区会議」は、2カ月に1回の開催を本年度から毎月1回に変更し、課題を集約して事業を推進していきます。「自慢できる故郷づくり」を目指し事業推進していきます。「できるかできないかは、やってみなければわからない」の精神で！

## あながき

春4月、桜は新鮮な花びらを、力いっぱい広げほんのひと時、心を和ませてくれます。いま、議会では議会改革に取り組んでいます。議員の仕事は何か。行政の監視、議案の賛否、提出・修正と幅広く求められます。また、町民の代表として行政に声を届ける。昨年、物議をかもした山香荘の活用方法。みなさんの思いは届いたのでしょうか。これらの仕事をするのに議員は何人が適正ですか。合併して広くなった大山町。みなさんも一緒に考えてください。最後に、それを任せる議員の報酬です。若い働き盛りの声を届けるためには、ある程度必要になります。来年の春は、大山町の将来に向かって、どのような桜の花が咲くのでしょうか。

- 【発行責任者】 議長 野口 俊明
- 【広報委員会】 委員長 竹口 大紀
- 副委員長 大森 正治
- 委員 西山富三郎
- 委員 池田 満正
- 委員 杉谷 洋一
- 委員 米本 隆記